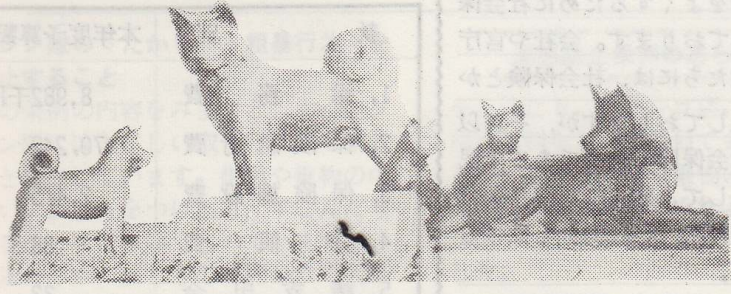


広報 おおだて

(9月号)

編集と発行 大館市役所



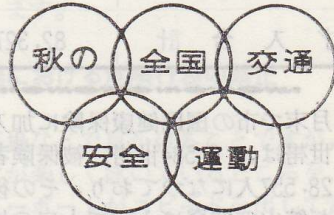
大館市の人口 61,500
(39年7月1日現在) 世帯数 13,398

(9月の解説)

日盛りはまだまだきびしい暑さがつづきますが、朝夕はめつきり涼しくなり、はだに初秋を感じるきょうのころです。

秋という字は禾(か)と火の組み合わせでできています。禾は食べものの意、火はものをやいたり、煮たりする。そこで、秋になるといろいろな穀物がみのりそれを炊飯するところから、この字ができたといわれます。世の中で食べ物が豊富にあり、火があれば、人間はますます平和な日々を送ることができるわけです。

1日は防災の日、台風、地震などの災害についての認識を深め、これに対処する心構えを平常準備させるために設けられています。1日～7日までは性病予防週間が始まります。また、15日から22日までとはかく孤独でみじめな生活に陥りやすい老人の健康と福祉を高め、ひろく国民一般が老人に対して関心と理解を深めるための第14回老人福祉週間が始まります。

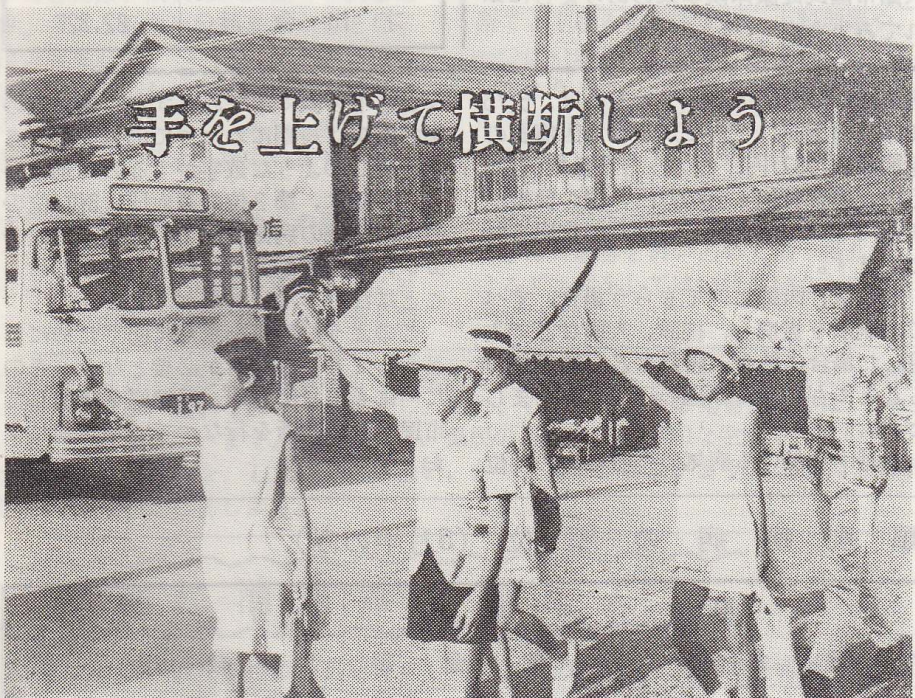


9月15日 ~ 9月25日

毎年、10月に交通事故の半減を目標に行なってきた秋の全国交通安全運動も、ことは、10月10日から東京オリンピックが開かれるため、オリンピック国民運動の一環として、今月の15日から25日までの10日間の日程に繰り上げして実施することになりました。

この全国交通安全運動は、交通事故の防止を目標に、すべての歩行者、運転者、運転者の雇い主、その他道路交通に関係のある者に、交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけるために大館市が主催しておこなうものです。

手を上げて横断しよう



秋の交通安全の目標

◎酒のみ運転をなくする運動
町内会、婦人会、青年会などで運転者に酒をのませない申し合せをし、みんなの責任で、運転する方には酒をのませない

い運動を展開する。
◎子供を交通事故から守る運動
交通教室を開いたり、街頭指導をおこなって交通のきまりを教え、PTA、婦人会、市の職員などが交通の危険な個所で誘導して子供を交通事故から守る運動

を行う。
◎安全に道路を横ぎる運動
横断するときは必ず左・右を確かめよう、手を上げて歩きますよう、全市民に指導し、手を上げる習慣をつけさせる運動を積極的に展開する。

郷土の 行楽地 その4 雪沢

秋田杉の美林と、長木川溪流の美観で古くから名を知られていた雪沢地区に、大量の湯が湧きだしたのは昨年(1979年)の11月、この泉質は石膏泉といわれ、慢性関節、リウマチ、筋肉リウマチ、神経痛などに適応する良質なものである。現在はまだ、入浴できないが、市では、鉱山資源開発に平行して、観光資源開発にのりだし、この雪沢温泉の立地条件に鑑み、将来の一大温泉郷にするための構想を練っている。

